

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	公衆浴場老人入浴料金助成事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			TEL 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	自宅に入浴設備のない高齢者が、在宅での生活を維持できるように、公衆浴場の入浴料金を助成することにより、生活環境の保持に努める。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	自宅に入浴設備がなく、かつ常時公衆浴場を利用している高齢者。	対象とした数	71	人
		実際に 利用した数	4,590	人

活動の内容	(何を したか)	1. 助成を受けようとする者は、老人無料入浴券受給資格審査願い及び交付申請書を市に提出する。 2. 申請書に基づき審査を行い、公衆浴場の利用が妥当と認めた場合は、交付決定を行う。 3. 対象者には年2回に分けて、それぞれ6ヶ月分の無料入浴券(月9枚)を交付する。 4. 対象者は利用の都度、無料入浴券を持参して公衆浴場を利用する。 5. 公衆浴場事業者はその月に使用された入浴券をまとめて翌月市へ入浴料助成額の請求をする。								
活動実績	項目名	入浴券使用枚数	4590	項目名		単位		項目名		単位
			枚							

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,848	2,056	3,653	10.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	延べ利用件数	人数	70	71	98.6
			単位 人	単位 人	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 * 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []											
		終了 ⇒ 事業完了			終了			休止					
	予算	* 現状どおり			増額			減額			終了		

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了											
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []				終了	
	予算	現状どおり			増額			減額			終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード	040402 公衆浴場老人入浴料金助成事業					
開始年度 昭和 49 年度 ー 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			所沢市公衆浴場老人入浴料金助成要綱				
	関連・類似事業	老人福祉センター・憩の家の浴場設置							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	いきいきと暮らすための支援・サービスの充実	小柱	(2) 在宅介護支援対策の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	自宅に入浴設備のない高齢者の健康の増進や衛生の向上により、生活環境の向上を図る。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	自宅に入浴設備のない高齢者が、在宅での生活を維持できるように、公衆浴場の入浴料金を助成することにより、生活環境の保持に努める。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	自宅に入浴設備がなく、かつ常時公衆浴場を利用している高齢者。			利用数の考え方	入浴券を利用した数				
	対象数	単位	平成 18 年度	76	人	利用数	単位	平成 18 年度	5,279	人
			平成 19 年度	71	人			平成 19 年度	4,590	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	1. 助成を受けようとする者は、老人無料入浴券受給資格審査願い及び交付申請書を市に提出する。 2. 申請書に基づき審査を行い、公衆浴場の利用が妥当と認められた場合は、交付決定を行う。 3. 対象者には年2回に分けて、それぞれ6ヶ月分の無料入浴券(月9枚)を交付する。 4. 対象者は利用の都度、無料入浴券を持参して公衆浴場を利用する。 5. 公衆浴場事業者はその月に使用された入浴券をまとめて翌月市へ入浴料助成額の請求をする。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
平成19年度中に改善した点			
入浴券を受け取りに来ない方への確認を行い、補助不要となった方については、廃止届の提出を促した。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		3,134	2,848	2,836
	決算(見込み含む)		2,143	2,056	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (0.05 人) (人) (0.05 人)			
	正規職員人件費	0.11 人 1,012	0.17 人 1,597		
	公債費				
	事業費合計		3,155	3,653	
	財源内訳	一般財源	3,155	3,653	2,836
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	9.3	10.8		
	利用数一単位あたり(単位:円)	597.7	795.9		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	入浴券使用枚数	公衆浴場にて使用した入浴券の実枚数	枚	5279	4590	4590	4500
	成果分析	延べ利用件数	人数	人	70	70	70	70
					実績	76	71	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率	92.1	98.6		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 所沢市
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	老人福祉センター・憩の家の入浴サービスがあることなどから、新規の申請件数は年間に数件程度である。また、当該事業の継続利用者についても家族と同居したり、施設入所するなどの理由で、若干ではあるが減少傾向にあり、今後は事業を縮小していく方向で検討する。	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	自宅や借家に風呂のない人の改善を図る	地域で生活できる高齢者の継続	平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	現在、2軒の公衆浴場は、地域的な片寄りがあるため、この事業のあり方について見直しを含め検討していく。		
	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			